

3学期始業式挨拶より ～ 小平奈緒選手に学ぶ ～

学校長 勝見藤一

1月5日（金）・6日（土）に行われた県中学校スケート大会に、私が役員になっていましたので、長野市のエムウェーブに行ってきました。

実は、私は大会が始まるだいぶ前にエムウェーブの会場に到着しましたので、スケートリンクへ出てみると、2月9日（金）から始まる平昌オリンピックの金メダル最有力候補と云われている小平奈緒選手が練習をしていました。見ていると、一つ一つ丁寧に確認するように流れるようなスケートイングをしていました。

小平奈緒選手は、500メートルでは、2016年10月から、国内だけでなく、ワールドカップなど国際大会も含めて、負けなしの24連勝。12月8日には、36秒50の日本新記録を樹立。さらに、1,000メートルでは、12月10日に、1分12秒09の世界新記録をたたき出しました。

小平奈緒選手は、1986年5月26日生まれの31歳ですが、スピードスケートの短距離種目で、しかも31歳を過ぎてから、日本新記録や世界新記録を樹立するって、皆さんすごいと思わないですか？ 身体的な面では、女性が20代後半になってくると衰えてくる部分があると思うのですが、この年齢になってから自分のタイムを伸ばして、連勝記録を突っ走る秘密はどこにあるのでしょうか？

実は、小平奈緒選手は、現在の絶対女王に登りつめるまでには、苦い経験がありました。過去2度出場したオリンピック（23歳、27歳）は、力を出し切れずに悔し涙を流しました。その後、28歳の時に、スケート王国オランダへ2年間留学し、頭を下げすぎない新しいフォームを身につけたのです。

そして、3度目のオリンピックシーズンに向けて、小平選手は、「ガンジーの有名な言葉に、『永遠に生きるかのように学べ、あした死ぬかのように生きる』』という言葉があるんですけど、そういう言葉のようなシーズンを送れたらいいかなと思います」と、決意を口にしています。あくなき探求心で自分のスケートを追求し続け、目の前のレースで全力を出し切る姿勢を持ち続け、そして、今回が3回目のオリンピックへ臨みます。私からの新年にあたってのキーワードは、

『あくなき探求心』です。

それでは、皆さん、3学期は今日から47日間という短い学期ですが、目標を持って1年間の締めくくりやまとめの一つ一つ慌てず丁寧にやっていきましょう。

<新生徒会長の抱負>

平成30年度生徒会長を務めます新井愛依（めい）です。私は、御代田中学校をよりよい学校にするため、生徒一人一人の意見を取り入れていく生徒会を目指します。そこで、前生徒会長が設置くださった意見箱をこれまで以上に身近なものに感じられるようにレベルアップさせたいと思います。また、全校の皆さんに考えてもらったイベントで全校生徒と生徒会のつながりが少しでも強くなるように活動していきたいです。このような活動には全校のみなさんの力が必要です。御代田中が一丸となって生徒会を盛り上げていきましょう。1年間よろしくお祈りします。



あこまやま

御代田中学校便り

平成一九年度 第五号

講演会が行われました

昨年11月20日に御代田町教育委員会、並びに御代田町連合PTAの主催により、本校体育館で講演会が行われました。

講師は、上田情報ビジネス専門学校副校長の「比田井和孝」氏。演題は「幸せな人生を歩むためにとっても大切なこと」。

仕事は「やり方」ではなく「あり方」が大事。○どんな心構えで、○どんな思いで、○何のためにするのが大事。

「与える者は与えられる」の法則。文句や不平ばかり言って自分だけがよければいいという人には何も与えられない。今の自分の生き方はどうですか？「感謝の心」、「おもいやり」

今、自分が何不自由なく暮らせること、命があること。日々感謝できているのか。親に家族に仲間に地域に・・・いつか自分に帰ってくるんですね。



2018年
2月9日

2月の主な行事

- 7日 公立高校前期選抜
- 9日 3年総合テスト
- 15日 前期選抜合格発表
- 22日 1・2年期末テスト
- 23日 1・2年期末テスト

3月の主な行事

- 7・8日 公立高校後期選抜
- 13日 3年生を送る会
- 15日 卒業式

学校目標
美しく
雄大な
浅間山に学ぶ